

# モヨロと目梨泊

めなしどまり

オホーツク文化に運ばれた金の宝もの



足金具

モヨロ貝塚と並ぶ道北のオホーツク文化の拠点・枝幸町「目梨泊（めなしどまり）遺跡」。  
オホーツク海に突き出した神威岬を見渡す段丘に設けられたムラからは、オホーツク文化の人びとが交易によって入手したとみられる数々の貴重な資料が見つかっています。  
平成30年には金でおおわれた刀装具のついた刀「金銅装直刀」が発見され、注目を集めています。  
モヨロと目梨泊、両遺跡の共通点や相違点、また、数々の「宝もの」がもたらされた意味など、最新の研究成果から紹介します。

講師 高島 孝宗 氏

（オホーツクミュージアムえさし・館長）

日時 令和3年10月24日（日）

午後2時～3時30分

（開場 午後1時30分）

会場 エコーセンター2000 大会議室

（網走市北2条西3丁目3番地）

定員 60名

（事前申し込みのみの受付となります）

※モヨロ文化に関心のある方

どなたでもご参加できます。

※入場は無料です。

お申込みお問い合わせは前日までに  
郷土博物館（Tel0152-43-3090）まで

主催 網走市教育委員会



金銅装直刀



足金具



モヨロ文化市民講座

# モヨロと目梨泊

～オホーツク文化に運ばれた金の宝もの～

目梨泊遺跡（写真左）と花文で装飾された刀装具（写真右）  
／左写真中央部が発掘中の目梨泊遺跡。神威岬をのぞむムラからは、  
金銅装直刀をはじめとする貴重な金属製遺物が発見された。  
（写真左：『目梨泊遺跡』枝幸町教育委員会 1994 より  
写真右：枝幸町教育委員会提供）

モヨロ貝塚と並ぶ道北のオホーツク文化の拠点・枝幸町  
「目梨泊（めなしどまり）遺跡」。

オホーツク海に突き出した神威岬を見渡す段丘に設けられたムラからは、  
オホーツク文化の人びとが交易によって入手したとみられる数々の貴重な  
資料が見つかっています。

平成 30 年には金でおおわれた刀装具のついた刀「金銅装直刀」が発見され、  
注目を集めています。

モヨロと目梨泊、両遺跡の共通点や相違点、また、数々の“宝もの”が  
もたらされた意味など、最新の研究成果から紹介します。

講師 高島 孝宗 氏

（オホーツクミュージアムえさし・館長）

日時 令和 3 年 10 月 24 日（日）午後 2 時～ 3 時 30 分  
（開場 午後 1 時 30 分）

会場 エコーセンター 2000 大会議室（網走市北 2 条西 3 丁目 3 番地）

定員 60 名（事前申し込みのみの受付となります）

主催 網走市教育委員会

装身具をまとったオホーツク人の像  
（オホーツクミュージアムえさし展示資料より）

